



右から時計回りに「機能的なキッチンで、手際よく料理をするジョン。アネスティーンの皿の柄をカラーコピーして作業台に貼ってある!」ブラジルで購入したオスクリンの靴、ラルフ ローレンのベルト、カルティエの(バシャ)はお気に入りのファッションアイテム。ひとり暮らしなので、ぱっと作れてぱっと食べられるイタリア料理をよく作る。フライパンやキッチンツールはステンレススチール100%のものを選んだ。壁から吊り下げた収納法は見習いたい。自社ブランド「イル・ラボラトリオ・デル・ジュラート」のパナラントチップのアイスクリームにスイカのシャーベットは、冷蔵庫に常備してある。



**\*01 LIVING**  
広々としたワンルーム。ベッドのあるスペースと仕事用スペースをババルで仕切った。自転車置き場に天井を活用するなど、無駄のない空間の使い方は見事。



**\*02 COOKING**  
ジョンの得意料理。左:モッツアレラチーズとトマト、生のパルメザン、オリーブオイルをかけて。右:ブロッコリー・ロブ(イタリアンブロッコリー)の Pasta。



**\*03 GOODS**  
デザインに惹かれて購入したカメラあれこれ。「コレクション」と呼べるほどいろいろなタイプを集めている。リビングの棚に、いつでも手が届くよう飾ってある。



**\*04 TOOLS**  
ジョンの愛用品。左:アネスティーンの1980年代のブレンダの皿。コレクションしているほど好き。右:毎日使っている、ガキアのエスプレッソマシン。

「アネスティーン」を立ち上げた。このアイスクリーム、たった1台のマシンを使い、生産量の1割は彼自身の手で作っているという。理由は、クオリティにこだわり、すべての製法に責任をもちたいから。ロウアイリストサイドに構えた店は早朝4時から出社することもある、多忙な毎日だ。

「アネスティーン」は、イタリアで陶器の工場を経営していた男性が、アメリカ人女性アーティストと恋に落ち、彼女のために作った「ランド」よみだという。ふたりは水く連れ添い、時をほぼ同様に活用している。趣味は食器集めだ。数年前から凝り始めたのが、イタリアの古いブランド「アネスティーン」。バステル調の淡い色彩と柄が好きだという。入手先はネットオークションや骨董市で、器はすべてこのブランドで統一している。

Jon F. Snyder  
**ジョン・F・スナイダー**  
NEW YORK 「イル・ラボラトリオ・デル・ジュラート」代表  
**器にはロマンを、ツールは機能を重視。**

「よいモノ」に囲まれるって幸せだよ。ジョンの食まわりの環境は、こだわり抜く男の美意識にあふれている。



左:チェアリットのトースター「ヴァリオ」、フロムカウで清潔感あふれるデザインが気に入った。133.06ドル/www.dualit.com  
右:ツヴィリングJ.A.ヘンケルスの「ツィンセルマックスM66」から、シェアブライ20cm。よく切れそう。129ドル/www.zwilling.com